

福島大学演劇研究会 平成25年度卒業公演

カフカズ・ディック

作：ケラリーン・サンドロヴィッチ / 演出：清水純也

短く、
奇妙な人生。

小説家
フランツ・
カフカの

2014, 3, 8^土 - 9^日

開場 14:30 / 開演 15:00

福島県文化センター小ホール

入場料 300円(高校生以下無料) / 全席自由

【お問合せ】 メール fukudai_enken@yahoo.co.jp

H P <http://fuenken2014.okoshi-yasu.com/>

【後援】 福島市教育委員会 福島民報社 福島民友新聞社
読売新聞東京本社福島支部 NHK福島放送局 福島放送
福島コミュニティ(エフエム・ポコ)シティ情報ふくしま

福島大学演劇研究会 平成25年度卒業公演

カフカズ・ディック

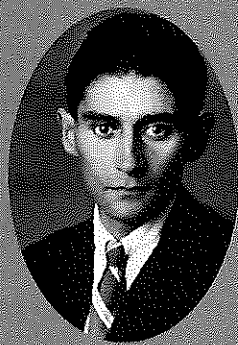
作：ケラリーノ・サンドロヴィッチ / 演出：清水純也

福島大学演劇研究会は、毎年3月上旬に「卒業公演」というその年の卒業生が主体となって、4年間の集大成を発表する舞台があります。これまでも卒業生を中心に個性あふれる舞台を作り上げてきました。今年卒業生の人数は異例の大人数15人！さらに優秀な後輩たちも加わり、あらゆる部分でこだわりの強い舞台を作り上げようと日々稽古に励んでおります。舞台を通じて、多くのお客様に私達の雄姿を見ていただければ幸いです。ご来場のほど、心よりお待ちしております。

STORY

福大演研、今年の卒公は
ナンセンス・コメディ。

小説家フランツ・カフカの死後、彼がブラハで暮らしていた部屋からは、あるべき原稿が消えていた！消えた遺稿、かつての恋人たち、友人、家族。それぞれの想いがふつかり、さらに奇怪な小説世界と本当のエピソード、ナンセンスがひしめき合い、物語が進行する。



フランツ・カフカ
(Franz Kafka 1883-1924)

ブラハのユダヤ人の家庭に生まれ、保険局に勤めながら作品を執筆。どこかユーモラスで謎めいた小説作品を残した。著作は数編の長編小説と多数の短編、日記および恋人に宛てた膨大な量の手紙から成り、純粹な創作は少なからぬ点数が未完である。生前は数冊の著書がごく限られた範囲で知られるのみだったが、死後、友人マックス・ブロートが彼の遺稿を発表し再発見、再評価され、現在では20世紀の文学を代表する作家と見なされている。代表作は『変身』『審判』『城』。

STAFF

演出：清水純也
助演出：鈴木賢
舞台監督：鈴木賢
助舞台監督：本田真也
舞台美術：鈴木里実、加藤桃子
音響：小林啓子、石井美歩
照明：ニタ村超、鈴木賢、横堀真由
小道具：古内友紀子、小池広朗、青塚翼
大道具：鈴木賢、那須大洋、佐藤椋一、高橋啓太、中島翔平
衣装：川島ゆかり、橋本夢摘、小林怜実
メイク：押切みちる、小林怜実、橋本夢摘
制作：鈴木里実、萩原功太、中島翔平
会計：田村春美
撮影：鈴木優斗

CAST

鈴木優斗 円谷良樹 鈴木里実
田村春美 川島ゆかり 押切みちる
古内友紀子 加藤桃子 鈴木優作
萩原功太 小池広朗 丹野春菜
五十嵐武洋 那須大洋 青塚翼
石井美歩 寒河江章友 本田真也
高橋啓太 熊田圭佑

INFORMATION

2014, 3, 8(土)-9(日)

開場14:30 / 開演15:00

福島県文化センター小ホール

チケット前売 / 当日 300円

(全席自由・高校生以下無料)



〈お問合せ〉

メール fukudai_enken@yahoo.co.jp

HP http://fuenken2014.okoshi-yasu.com/



【市内バスのご案内】福島駅東口バス乗り場(9番)より市内循環バス(1・2コース)に乗り、『文化センター入口』停留所下車。徒歩5分。(運賃100円、本数は1時間に6~10本、乗車時間15分程度)

ベッドの中で自分が巨大な毒虫に変わっているのに気づいた。

ある朝、グレゴール・ザムザは不安な夢から目覚めると、

「変身」より